

水 産 資 源 調 査

I 調 査 目 的

イワシ類、アジ、サバ、スルメイカの資源動態を把握し、漁況予報の精度向上に資するとともに漁業経営の安定に資する。

II 調 査 内 容

1. 調 査 期 間 昭和51年 4 月～同年12月
2. 調 査 場 所 鰺ヶ沢町，青森市後潟
3. 担 当 者 淡水養殖部 主任研究員 沢 田 兼 造
技 師 長 津 秀 二
4. 調 査 項 目
 - (1) 漁 況 調 査
イワシ類，アジ，サバ，スルメイカ
 - (2) 多項目調査
体長，体重，性別，生殖腺重量，肥満度，胃内容重量および種類
 - (3) パンチング調査

III 調 査 結 果

1. 漁 況 調 査 （52年 1 月～10 月，県統計）
 - (1) マイワシ……………34, 575 トンで昨年同期の 2. 5 倍
 - (2) ウルメイワシ……………1 トンで昨年同期の 5. 5 %
 - (3) カタクチイワシ……………862 トンで昨年同期の 31 %
 - (4) マ ア ジ ……………5 トンで昨年同期の 45 %
 - (5) スルメイカ……………48, 232 トンで昨年同期の 75 %
 - (6) マ サ バ ……………112, 081 トンで昨年同期の 1. 5 倍
2. 魚 体 調 査
 - (1) マイワシ（後潟）
 - A. 体 長……………9. 0 ～ 23. 0 *cm*の範囲に分布し，モードは 6 月の 19. 0 *cm*が最大で，12 月の 9. 5 *cm*が最小。
 - B. 体 重……………10 ～ 135 *g*の範囲に分布。
 - C. 肥満度……………9. 0 ～ 16. 5 の範囲に分布
 - D. 生殖腺……………7 月以降は 1 *g* 以下となり，最大卵径は 0. 6 *mm*で 5 月10日， 5 月23日に出現

(2) カタクチイワシ (後潟)

A. 体 長……………6～16.5 cmの範囲に分布し、モードは6月の9.0 cmが最大で9月の8.5 cmが最小。

B. 体 重……………2～44 gの範囲に分布。

C. 肥満度……………6～13.5の範囲に分布。

D. 生殖腺……………7月が最大で雌は3.4～4.1 g, 雄は2.8～4.8 g。

卵径は5月が最大で0.8～0.9 mm。

(3) マ ア ジ (後潟)

A. 尾叉長……………5～13.0 cmの範囲に分布。

B. 体 重……………4～35 gの範囲に分布。

C. 肥満度……………8～18.0の範囲に分布。

D. 生殖腺……………幼魚のため生殖腺が認められず雌雄不明。

(4) スルメイカ (鰹ヶ沢)

A. 外套長……………13～29 cmの範囲に分布し、モードは8月の22 cmが最大で、5月の15 cmが最小。

B. 体 重……………40～520 gの範囲に分布。

C. 生殖腺……………6月までは未熟群が主で1 g以下の個体が多かった。

7月からは半熟の個体が出現し、8月以後は完熟の個体が多くなり、9月、10月はそれぞれ50%をこえている。

D. 胃内容……………種類の判明したものは(イワシ)(カタクチイワシ)その他はテミスト、イカなどであった。

(5) スルメイカ (後潟)

A. 外套長……………5～21 cmの範囲に分布。

B. 体 重……………1～180 gの範囲に分布。

C. 生殖腺……………全部未熟卵で、1 g以下の個体が多かった。

D. 胃内容……………種類の判明はイワシ(小魚が多く、その他イカ類、テミスト)などであった。

(6) マ サ バ (後潟)

A. 尾叉長……………8～30 cmの範囲に分布し、モードは8月の20 cm最大で10月、11月の13 cmが最小。

B. 体 重……………10～250 gの範囲に分布

C. 肥満度……………6.0～13.5の範囲に分布

D. 生殖腺……………若令魚のため生殖腺は認められず雌雄不明であった。

※詳細については「沿岸重要資源委託調査結果報告書」を参照ください。